

IAEVG2019(国際キャリア教育学会・第43回大会・スロバキア)参加報告

日本キャリア教育学会 国際交流委員会

2019年9月11日(水)から13日(金)までの3日間、International Association for Vocational and Educational Guidance (IAEVG:国際キャリア教育学会*)の第43回大会が、スロバキアのブラチスラバ経済大学にて開催されました。46か国から約500名のキャリアガイダンスの研究者、実践者が参加し、200件以上の口頭・ポスター発表、ワークショップが行われました。当学会からは5名の発表がありました。



基調講演にはキャリア開発分野の学際性を反映して、ドキュメンタリー作家、哲学者など多様な分野の専門家が登壇しました。メインテーマは「Career Guidance for Inclusive Society」で、セッションは社会公正、反差別、ジェンダー、民主主義等に関するものが見られました。また、開催地域の中東欧のキャリアガイダンス政策に関するシンポジウムも開かれました。

欧州の研究者の発表が中心ということで、国を超えた事例・研究が多くありました。セッションの中では、MacMahon、Arthur、Neault氏のキャリア理論に関する口頭発表が立ち見が出るほどの人気で、その後の同発表者のキャリア理論の著書販売も売り切れとなるなど、キャリア理論への関心の高さがうかがわれました。最終日の午後に行われた基調ワークショップの一つ、南アフリカのKobus Maree氏のグループワークによるキャリアカウンセリングは、講師の経験の深さと熱意が伝わる内容で、参加者は実際のグループカウンセリングを体験し、自分のキャリアを振り返る機会を持ちました。

本大会では事前イベントとして9月9日から10日まで、チェコのブルーノにて研修訪問とシンポジウムも開催されました。またポスターセッションは、設置場所が良く参加者間の意見交換が活発に見られました。大会の内容が充実しており、工夫されたプログラム構成に加えて進行もスムーズで、閉会式では運営スタッフへ大きな賞賛の拍手が送られました。

本大会のIAEVG理事会にて、「人への投資・支援を行う包括的社会に関するコミュニケ (Communiqué on Inclusive Societies Investing in their People)」が発行されました。また、同理事会をもって、藤田晃之会員(筑波大学・教授)が次期(2019-2023)の理事及び副会長に就任しました。日本キャリア教育学会から初のIAEVG理事選出であ

り、アジアからはインドの Arulmani 氏に次ぐ 2 人目の選出となります。藤田会員の理事会活動が日本のキャリア教育・カウンセリングの研究と実践の国際連携と発信の強化につながるよう、当学会としても後押しをしていきます。

会議で各国からの参加者と話しをしたところ、2015 年の IAEVG 筑波大会の評価が高く、日本のキャリア研究に良い印象をもっていただいていると感じました。今後も IAEVG において日本キャリア教育学会が重要な役割を担えるよう、多くの方の IAEVG 国際大会への参加を期待します。来年度の大会はラトビアのリガにて 2020 年 10 月 19 日から 22 日まで開催予定です。

IAEVG 第 43 回大会 2019 公式の成果報告・コミュニケ・講演資料等

<https://iaevgconference2019.sk/outcomes/>

*日本キャリア教育学会では、International Association for Vocational and Educational Guidance (IAEVG) を、「国際キャリア教育学会」と訳しています。

全体写真



オープニング



レセプション



会員の発表



ツールセッション



実行委員



会場の様子

